

新型コロナウイルス感染症に係る入院医療体制の運用について

1 経緯

- (1) 本県では、新型コロナウイルス感染症に係る入院医療体制について、一般医療とのバランスも考慮し、新規陽性患者の発生状況に応じて、フェーズごとに体制を強化するシナリオを用意し、650床程度の病床を確保していた。
- (2) 新規陽性者の急増を受け、特別な対応として、医療機関に対して、さらなる病床確保の協力を要請し、現在 839床を確保している。

2 今後の対応

新規陽性者数の減少、緊急事態宣言が解除された状況を踏まえ、受入可能な病床の運用について、650床程度（うち重症対応120床程度）の体制に戻す。

同様に、宿泊療養施設についても、700室程度の運用体制とする。

【フェーズに応じた体制】

| | 感染小康期 | 感染警戒期 | 感染増加期 | 感染拡大期1 | 感染拡大期2 | 感染拡大特別期 |
|------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 目安 新規陽性 患者数 (1週間平均) | 10人未満 | 10人以上 (警戒基準) | 20人以上 | 30人以上 | 40人以上 | 総合的に判断 |
| 体制構築 の考え方 | 15人/日の新規患者 数発生に対応 | 20人/日の新規患者 数発生に対応 | 30人/日の新規患者 数発生に対応 | 40人/日の新規患者 数発生に対応 | 55人/日の新規患者数 発生に対応 | |
| 病床数 | 200床程度 うち重症40床程度 | 300床程度 うち重症50床程度 | 400床程度 うち重症70床程度 | 500床程度 うち重症90床程度 | 650床程度 うち重症120床程度 | 750床程度～ うち重症120床程度～ |
| 宿泊療養 | 200室程度 | 200室程度 | 300室程度 | 500室程度 | 700室程度 | 1,000室程度～ |